

紙面上では市外局番03の表記を省略しています。

平成25年度

「確かな学力の定着度調査」の結果をお知らせします

区は、子どもたちの基礎学力の向上を図り、自ら考え判断できる生きる力を育てるための施策の一つとして「確かな学力の定着度調査」を実施しています。
 この調査では、学習内容が身に付いているかを把握する「学習到達度調査」と、学習に取り組む意欲や家庭での日常生活習慣などの意識を測る「学習意識調査」から、児童・生徒の学習状況の全体像を把握します。
 小学4年生以上と中学生を対象に、4月16日に行った調査の結果をお知らせします。

【担当課】 指導室 ☎(5654)8471

「確かな学力の定着度調査」の結果(一部抜粋)

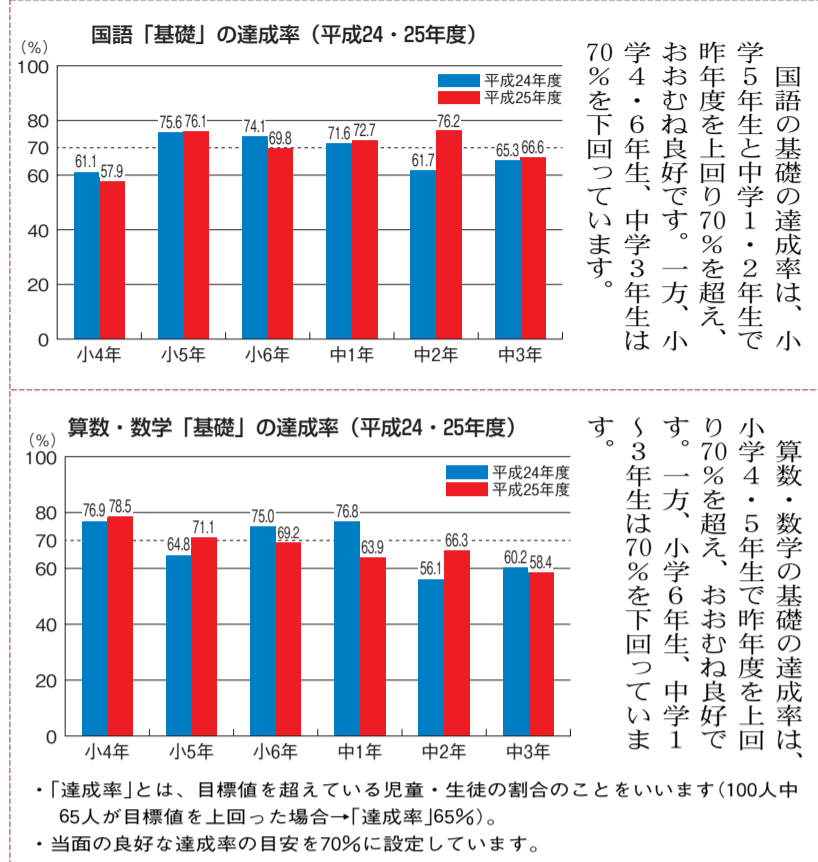
詳しくは区ホームページ(トップ)区政情報統計調査調査をご覧ください。

「学習到達度調査」の結果

その学年がめざすべき学習の目標値を設定し、それを達成できている児童・生徒の割合を達成率として集計・分析します。

「学習意識調査」と「学習到達度調査」の相関関係

▽「学習意識調査」で、自分の良いところを認識できると回答した児童・生徒は、学習に前向きに取り組むことができ、学力が高い傾向があります。▽「学習意識調査」で、文章問題など複雑な条件を式や図に置きかえ、自分で理解しようとするという回答した児童・生徒は学力が高い傾向があります。この結果を受け、区では授業改善や家庭学習の充実に取り組んでいます。



「学習意識調査」の結果

好きな教科などや生活習慣などの質問に、肯定的な回答をした児童・生徒の割合です。

「学校へ行くのが楽しい」

小・中学生全ての学年で70%を超えています。学年が上がるとともにその割合が減少しています。

「朝食は毎日食べている」

小・中学生全ての学年で90%を超えています。

「近所の人にあいさつをする」
 小・中学生全ての学年で75%を上回っています。

授業改善・家庭学習 充実への取り組み

- ▽各学校から提案された学力向上策への支援
 - ▽区独自の学習支援講師などによる習熟の程度に応じた少人数指導の推進
 - ▽家庭と連携した学習習慣の確立
- 各学校は、すでに児童・生徒および保護者の皆さんに各自の結果を配布し、各児童・生徒の指導に取り組んでいます。
- 「学習意識調査」では、家庭学習の時間が伸びていますが、さらに確保することが必要です。予習・復習を習慣化させるなど、家庭学習のための条件整備をご家庭とともに進めていきますので、ご協力をお願いします。

特別展記念講座

バスツアー 大都市東京 下水のゆくえ
 小菅水再生センター、ふれあい下水道館(小平市)を見学し、トイレの廃水がどのように処理されているか学びます。実際に下水管の中にも入ります。
【日時】 8月24日(土) 午前9時～午後6時
【定員】 40人
【費用】 2,200円
【申込方法】 往復ハガキに「下水道バスツアー」、参加者全員の住所・氏名・電話番号を書いて、8月14日(水)(必着)まで(多数抽選)。電子申請可。
講演会 トイレと日本人
 区民大学単位認定講座。日本のトイレの歴史や日本人のトイレに対する感覚を海外と比較し解説します。
【日時】 8月25日(日) 午後2～4時
【会場】 郷土と天文の博物館
【定員】 100人
【講師】 平田純一氏(日本トイレ協会名誉会長)

【費用】 200円
【申込方法】 往復ハガキに「トイレ」、参加者全員の住所・氏名・電話番号を書いて、8月16日(金)(必着)まで(多数抽選)。電子申請可。
講演会 人のくらしと寄生虫
 区民大学単位認定講座。日本人と寄生虫の歴史と現在の暮らしの中に見られる寄生虫について解説します。
【日時】 9月7日(土) 午後2～4時
【会場】 郷土と天文の博物館
【定員】 100人
【講師】 巖城隆氏(公益財団法人目黒寄生虫館研究員)
【費用】 200円
【申込方法】 往復ハガキに「寄生虫」、参加者全員の住所・氏名・電話番号を書いて、8月28日(水)(必着)まで(多数抽選)。電子申請可。
いずれも
【申し込み・担当課】
 〒125-0063白鳥3-25-1 郷土と天文の博物館

【申込方法】 往復ハガキに「バスツアー」
【費用】 3,300円
【定員】 47人
【日時】 9月5日(木) 午前7時30分～午後6時30分
【事前説明会(参加必須)】 8月31日(土)午前10時～正午
【申し込み・担当課】 〒125-0063白鳥3-25-1 郷土と天文の博物館

関東平野眺望バスツアー 榛名編
 群馬県榛名山の火山地形と砂防ダム、富岡製糸場を見学します。
【日時】 9月5日(木) 午前7時30分～午後6時30分
【事前説明会(参加必須)】 8月31日(土)午前10時～正午
【定員】 47人
【費用】 3,300円
【申し込み・担当課】 〒125-0063白鳥3-25-1 郷土と天文の博物館

郷土と天文の博物館 特別展 肥やし底チカラ

日程 8月4日(日)～9月16日(月・祝)
会場・担当課 郷土と天文の博物館(白鳥3-25-1) ☎(3838)1101

展示内容

江戸時代、江戸周辺の農村の役割は、江戸の町に野菜などの食糧を供給すること、町の生活廃棄物を「肥やし」という形で使い、環境を衛生的に保つことでした。特別展では、この10年で発見された新しい資料をもとに、江戸・東京と近郊の農村の下肥を通じた交流を明らかにします。葛飾の地域性を生かした先人たちの知恵をご覧ください。

都市と下肥
 江戸の町から排出された人糞尿の取引方法や使い方を、古文書や関係者の証言などから明らかにします。

下肥の記憶
 実際に下肥を使い、野菜を作っていた方の体験談から、下肥という肥料の便利どころ、苦心したところなどを紹介します。

下肥の未来
 化学肥料や未来の農業の研究では「下肥的な」肥料が目立っています。先人の生活の知恵である下肥を、これからの農業にどのように活用できるのかを紹介します。



ネギ作りでの施肥の模様(昭和20年代、金町)